

令和4年度 第1回小櫃・上総地区公民館運営審議会 次第

日時：令和4年5月17日(火)午後3時～
会場：上総公民館3階多目的ホール

- 1 開会
- 2 公民館長あいさつ
- 3 委員・職員の自己紹介
君津市公民館職員名簿（小櫃・上総）
- 4 議事
 - (1) 令和4年度小櫃・上総地区公民館運営審議会について
 - 資料1-1 令和3年度～4年度小櫃・上総地区公民館運営審議会について
 - 資料1-2 小櫃地区人口動態について
 - 資料1-3 上総地区人口動態について
 - (2) 令和4年度公民館事業計画及び修繕・備品計画について
 - 資料2-1 令和4年度 小櫃公民館事業計画
 - 資料2-2 令和4年度 上総公民館事業計画
 - 資料2-3 令和4年度 上総地域交流センター事業計画
 - 資料2-4 令和4年度 修繕・備品購入計画
 - (3) ICT を利活用した公民館事業の新しいあり方について
 - 資料3-1 ICTに関する説明資料
 - 資料3-2 上総公民館モデル事業「サークルリーダーICT講習会」について
 - 資料3-3 小櫃公民館モデル事業「小櫃まるごと博物館構想」について
 - 資料3-4 モデル事業評価票記入要領
 - 資料3-5 モデル事業評価票（※一部修正）
- 5 その他
 - (1) 君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会及び役員会・総会について
日時：6月1日（水）午後2時～理事会、午後3時～総会
会場：木更津市立中央公民館
※後日、通知文を送付します。
 - (2) 今年度公運審委員に関わる諸事業について
 - ・千葉県公民館連絡協議会（県公連）研究大会
 - ・君公連・君公運審連合同研修会※日程等は未定のため、動きがありましたら追ってお知らせします。
 - (3) その他
- 6 閉会

君津市公民館（小櫃・上総）職員名簿

令和4年4月1日現在

職名	氏名	在職年数	備考
小櫃 公民館 〒292-0451 末吉128 Tel35-2488 fax35-2418			
館長	たむら 村 正 ^{ただし}	5年目	
副館長	えのもと 本 倫 ^{みちよ} 代	1年目	
副主査	あいざわ 澤 直 ^{なお} 也	1年目	
主任主事	ささき 木 貴 ^{たかひろ} 博	3年目	

上総 公民館 〒292-0421 久留里市場192-5 Tel27-3181 fax27-3182 *公運審事務局			
館長	もとはし 橋 俊 ^{しや} 哉	4年目	所長
副館長	もりもと 森 本 弘 ^{ひろ} 之 ^{ゆき}	1年目	副所長
副主査	はやた 田 悠 ^{ゆう} 子 ^こ	1年目	副主査
公民館主事	いまい 井 雄 ^{ゆう} 生 ^き	2年目	社会教育主事
主事	おかもと 岡 本 瑞 ^{みず} 歩 ^ほ	4年目	主事
松丘分館長	うるめ 米 壽 ^す 美 ^み 子 ^こ	5年目	
亀山分館長	すずき 木 透 ^{とほる}	1年目	

君津市公民館運営審議会委員

(任期：令和5年3月31日まで)

小櫃・上総地区公民館運営審議会

(小櫃公民館推薦分)

選出分野	氏名	住所	団体名等
2	水田 安政	末吉	そうじいや ※自治会関係
2	市原 朝夫	寺沢	農業関係 県立君津青葉高等学校 PTA
3	丸山由起子	俵田	元連合婦人会役員 生活支援コーディネーター
4	三橋 一文	戸崎	元県庁職員 地域スポーツ団体

(上総公民館推薦分)

選出分野	氏名	住所	団体名等
1	石井 武亨	上総小学校	上総小学校長
2	野村 啓子	笹	上総地区青少年相談員連絡協議会副会長
4	鈴木 正美	大戸見旧名殿	元上総公民館亀山分館長 松丘分館事業推進委員
4	小泉香生里	久留里市場	人権教育事業協力者

- 1 学校教育関係者 2 社会教育関係者 3 家庭教育関係者 4 学識経験者

令和4年度 第1回
小櫃・上総地区公民館運営審議会
会議資料（事業概要）

日 時：令和4年5月17日（火）午後3時から

会 場：上総公民館 多目的ホール

資料 1-1

1-2

1-3

令和3年度～4年度小櫃・上総地区公民館運営審議会について

人口動態から見る小櫃地区の現状について

人口動態から見る上総地区の現状について

令和3年度～4年度 小櫃・上総地区公民館運営審議会について

令和4年4月 一部変更

1 公民館運営審議会とは

公民館運営審議会（以下「公運審」）は、社会教育法及び君津市公民館条例の規定に基づいて設置される公民館長の諮問機関です。君津市教育委員会から委嘱され、任期は一期2年です。君津地区（君津中央・八重原・周西・周南）、小糸・清和地区、小櫃・上総地区の3つの審議会があります。

小櫃・上総地区公運審は8名の委員で構成されています。委員には、市民の学習の場・憩いの場である公民館をより良くするために、市民の代表として様々な立場から、主催事業や施設など、公民館運営全般について、地域に望ましい運営がなされているか調査・研究し、市民の要望や意見等を述べていただく役割があります。また、各地区の公運審のほかに、君津地方（木更津市・君津市・富津市・袖ヶ浦市）の委員で構成される君津地方公民館運営審議会委員連絡協議会（君公運審連）の会員として、研修会等に参加いただいています。

過疎化と少子高齢化が進む小櫃・上総地区で、地域活性化や持続可能な地域づくりを目指すために、専門的な分野の視点を持つ委員と広く社会的な見識を持つ学識経験者、自治会・地域団体等の地域で暮らす住民によって委員が構成されることが望ましいと考えています。

【委嘱の根拠と選出分野】

（1）根拠

社会教育法第30条及び君津市公民館の設置及び管理に関する条例第6条

（2）選出分野

- 1 学校教育の関係者
- 2 社会教育の関係者
- 3 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- 4 学識経験のある者

【小櫃・上総地区公民館運営審議会委員選出区分について】

（1）社会教育・学校教育関係者

小中学校の統合により、コミュニティのあり方に大きな変化が予測されます。地域の教育関係者として、他の施設や分野との連携も視野に入れ、地域の教育力を持続させるために、幅広い視点や地域の実情に即した意見をいただきたいと考えます。

（2）自治会・地域団体・NPO等

子ども達の健やかな成長や住民の活力増進の担い手、また地域住民の代表として、公民館と地域をつなぐ橋渡しとなる意見をいただきたいと考えます。

（3）家庭教育関係者

当事者の声に寄り添うコミュニティづくりを目指すために、子どもを取り巻く地域や諸行事のあり方について、子育て経験者の視点から意見をいただきたいと考えます。

(4) 学識経験者

複雑化・多様化する地域課題の中で、先進事例や学術的見地から、小櫃・上総地区に必要な学習課題は何か、また誰もが暮らしやすい地域づくりと公民館のあり方を考えるための意見をいただきたいと考えます。

2 小櫃・上総地区公民館運営審議会の方向性

『子ども、若者、高齢者など、誰もが地域で暮らし続けられるふるさとづくりに寄与する公民館事業』の実現に向けて（意見書）（平成31年3月14日、小櫃・上総地区公民館運営審議会）及び平成31年度・令和2年度の「学校と地域を結ぶ公民館事業のあり方について」の審議で示された公民館運営のあり方や主催事業の方向性に基づいて、審議を継続的・発展的に展開する必要があります。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策である「新しい生活様式」に基づいた施設使用条件や事業方針を踏まえて、地域住民の学習の機会と場所を保障することが大きな課題です。ICT（情報通信技術）を利活用した公民館事業の新しいあり方について審議いただきたいと考えています。

(1) 令和3年度～4年度 小櫃・上総地区公民館運営審議会重視すべき点

①「地域と学校の協働活動による全員参加型社会の実現を目指して」

これまでの公運審では、学校の統合が進む中で、学校と地域を結ぶ事業のあり方について審議を重ねてきました。

学校は、児童・生徒が集う、学習と生活の拠点です。学校に関わる地域住民の裾野を広げ、誰もが主人公として活躍する社会を目指すことで、子どもと地域をつなぐことができます。また、学校を核に地域住民と子どもに関わる機会を増やすことで、統合前の学区を超えた住民の交流や、地域文化の相互理解と融合が期待できます。

そのためには、①地域住民が「学校」（教育方針、子どもの現状、発達上の課題など）に関心を持ち、②「学校」を通じて、子どもの学び、成長・発達に関わる地域住民を増やし、③地域の諸活動を牽引している地域団体の育成や活性化を図ることが必要です。

上記3点を踏まえたモデル事業を実施し、公運審で検証を行うことで、社会的な教育基盤の整備を図り、全員参加型社会の実現を目指す上で、公民館の持つべき視点や事業の方向性について審議をしていただきたいと考えています。

②「ICTを利活用した公民館事業の新しいあり方について」

新型コロナウイルスの感染症拡大以降、「新しい生活様式」に沿った交流が模索される中で、Web会議システムなどのICT（情報通信技術）の活用が拡大していることを受け、ICTを利活用した公民館事業の新しいあり方について審議していただきたいと考えています。

小櫃・久留里・松丘・亀山にまたがる広大な学区を持つ中学校の統合・新設に伴って、新たなコミュニティづくりの必要性が高まっています。そのためには、従来通り旧中学校区（日常生活圏域）に根差した文化や地域行事等を尊重しつつ、中学校を中心に小櫃・上総地区の一体感を作っていくことが必要です。

地域に根ざす公民館として、これらの課題にどう取り組むかが問われています。

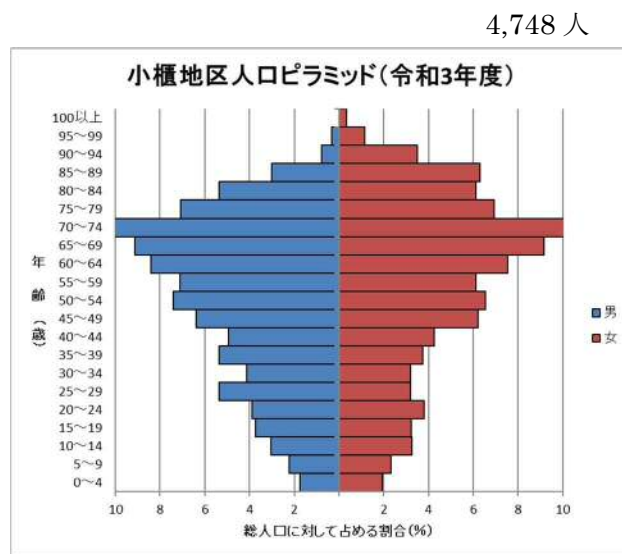
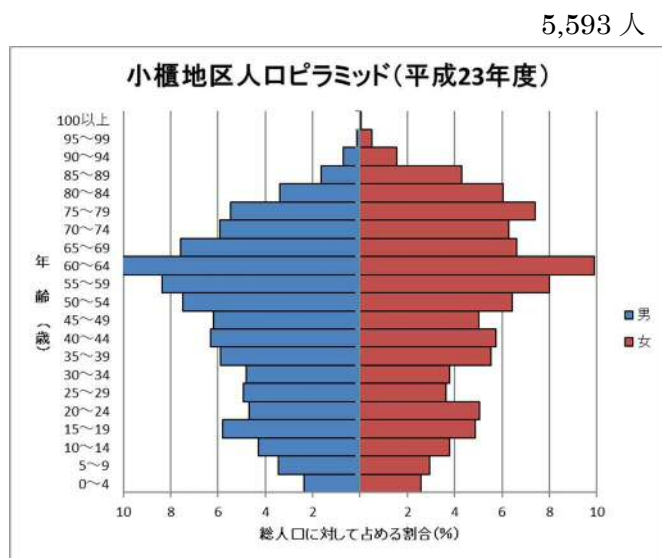
資料 1-1

今期の小櫃・上総地区公民館運営審議会では、小櫃・久留里・松丘・亀山の各地区を重視しつつ、地域が抱える複雑化・多様化する課題の解決を目指すための学習・交流のあり方や、拠点としての公民館のあるべき姿について議論したいと考えています。

〔令和3年度～令和4年度 小櫃・上総地区公民館運営審議会 実施計画〕

令和3年度				
日時	第1回 5月17日(月) 15時～17時	第2回 9月28日(火)～ 10月5日(火)	第3回 12月10日(金) 15時～17時	第4回 3月10日(木) 15時～17時
会場	上総公民館	書面開催	小櫃公民館	松丘コミュニティセンター
議題	①各公民館年間事業計画について ②今後の公運審の進め方について ・「地域と学校の協働活動による全員参加型社会の実現を目指して」(説明&議論) ・「ICTを利活用した公民館事業の新しいあり方について」(説明)	①各公民館事業の中間報告 ②「地域と学校の協働活動のあり方」について ③モデル事業の説明及び評価等について ④「ICTを利活用した公民館事業の新しいあり方について」(経過報告)	①各公民館事業の中間報告 ②「成人を祝う集い」「文化祭」について ③公民館モデル事業の実施報告、評価の報告 ④「ICTを利活用した公民館事業の新しいあり方について」(経過報告)	①各公民館事業報告 ②公民館モデル事業の実施報告、評価の報告 ③「地域と学校の協働活動のあり方」について報告・単年度総括 ④「ICTを利活用した公民館事業の新しいあり方について」(経過報告)
備考	・開催前に委嘱状交付式実施	・評価表配付		
令和4年度				
日時	第1回 5月17日(火) 15時～17時	第2回 9月中旬 15時～17時	第3回 12月中旬 15時～17時	第4回 3月上旬 15時～17時
会場	上総公民館	小櫃公民館	亀山コミュニティセンター	上総公民館
議題	①今年度公運審の進め方について ②今年度の事業計画について ③「ICTを利活用した公民館事業の新しいあり方について」 →前年度の経過を踏まえてご意見をいただき、モデル事業の提示	①令和4年度上期事業報告 ②「ICTを利活用した公民館事業の新しいあり方について」 →上総公民館モデル事業の実施報告、評価の報告 →小櫃公民館モデル事業の実施報告、評価の報告	①令和4年度各館事業進捗状況 ②「成人を祝う集い」「文化祭」についての報告 ③「ICTを利活用した公民館事業の新しいあり方について」 →モデル事業の評価を踏まえた今後のあり方について意見交換	①テーマに対するまとめ ②令和4年度事業報告
備考				

1. 人口ピラミッドから見る小櫃地区



(1) 高齢化の現状について

【平成 23 年度】

65 歳から 74 歳までの前期高齢者数は 705 人（男性 342 人、女性 363 人）、75

歳以上の後期高齢者数は 867 人（男性 312 人、女性 555 人）であり、小櫃地区の高齢化率は **28.1%** となっている。全国平均 23.1% と比較すると 5.0 ポイント高くなっている。

【令和 3 年度】

前期高齢者数は 961 人（男性 479 人、女性 482 人）、後期高齢者数は 933 人（男性 373 人、女性 560 人）であり、小櫃地区の高齢化率は **39.9%** になっている。全国平均は 28.8% と比較すると 11.1 ポイント高くなっている。

※全国平均は、国勢調査、高齢者白書を参照している。（当該年の 10 月現在の割合を計上）

(2) 少子化の現状について

【平成 23 年度】 ※年少人口は 0 歳から 14 歳までを指すが、未就学児から高校卒業までの年代で分析している。

0 歳から 6 歳までの未就学児数は 215 人（男性 108 人、女性 107 人）、7 歳から 15 歳までの児童・生徒数は 408 人（男性 219 人、女性 189 人）であり、人口に占める子どもの割合は、**11.1%** になっている。

【令和 3 年度】

未就学児数は 140 人（男性 68 人、女性 72 人）、児童・生徒数は 254 人（男性 121 人、女性 133 人）であり、人口に占める子どもの割合は、**8.3%** になっている。

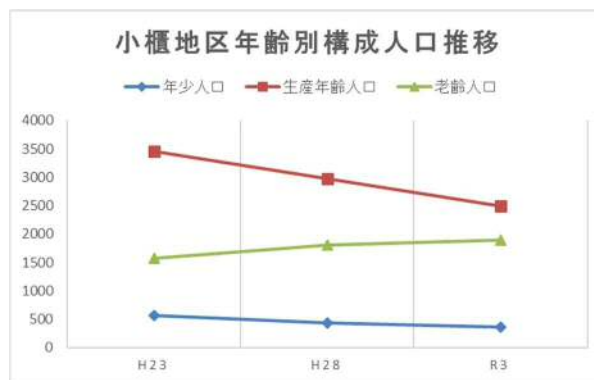
(3) 生産年齢人口の現状について

【平成 23 年度】

生産年齢人口は 3,458 人（男性 1,828 人、女性 1,630 人）であり、人口に占める割合は、**61.8%** になっている。

【令和 3 年度】

生産年齢人口は 2,493 人（男性 1,355 人、女性 1,138 人）であり、人口に占める割合は、**52.5%** になっている。



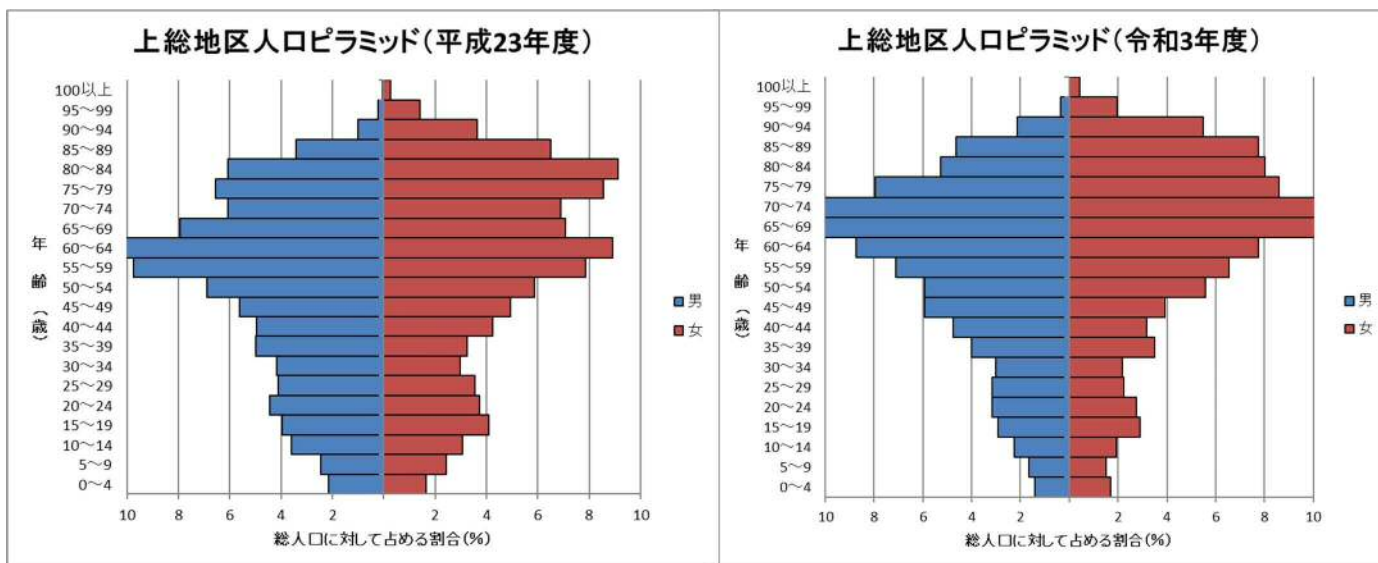
	H23	H28	R3
年少人口割合	10.1%	8.3%	7.6%
生産年齢人口割合	61.8%	57.1%	52.5%
老齢人口割合	28.1%	34.5%	39.9%

人口動態から見る上総地区の現状について

1. 人口ピラミッドから見る上総地区

8,262人

6,096人



(1) 高齢化の現状について

平成23年度末、65歳以上の高齢人口は3,107人（男性1,240人、女性1,867人）で、高齢化率は**37.6%**であった。令和3年度末、高齢人口は3,062人（男性1,372人、女性1,690人）で、高齢化率は**50.2%**となっている。

(2) 少子化の現状について

平成23年度末、15歳未満の年少人口は632人（男性324人、女性308人）で、人口に占める割合は**7.6%**であった。令和3年度末の年少人口は318人（男性158人、女性160人）で、人口に占める割合は**5.2%**となっている。

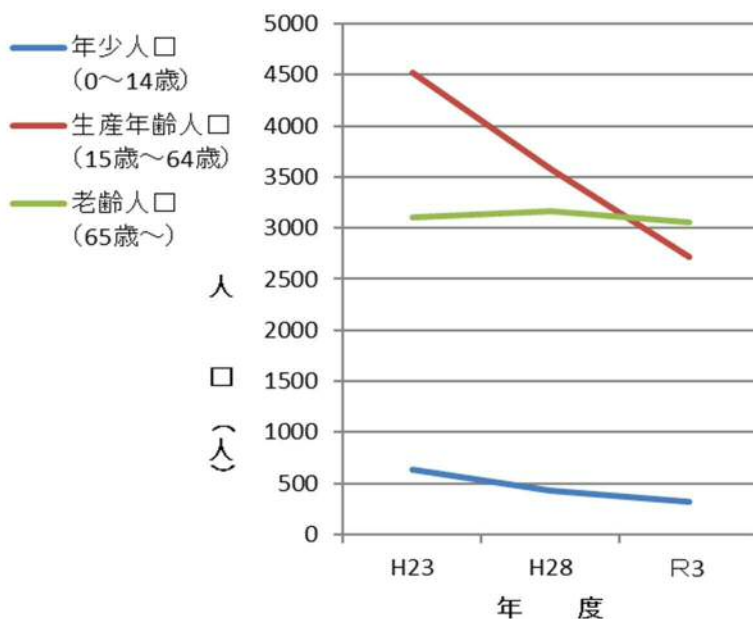
(3) 生産年齢人口の現状について

平成23年度末、15歳から64歳までの生産年齢人口は4,523人（男性2,398人、女性2,125人）で、人口に占める割合は**54.7%**であった。令和3年度末の生産年齢人口は2,716人（男性1,453人、女性1,263人）で、人口に占める割合は**44.5%**となっている。

□参考：旧町村別人口数(令和3年度末)

久留里地区	2,547人（世帯数1,197世帯）	高齢化率 45.2%	年少人口 6.1%	生産年齢人口 48.6%
松丘地区	2,009人（世帯数 979世帯）	高齢化率 53.2%	年少人口 4.6%	生産年齢人口 42.2%
龜山地区	1,540人（世帯数 748世帯）	高齢化率 54.6%	年少人口 4.4%	生産年齢人口 41.0%

上総地区年齢別構成人口推移



	H23	H28	R3
年少人口割合(%)	7.65	6.03	5.22
高齢人口割合(%) (高齢化率)	37.61	44.18	50.23

資料 2-1

2-2

2-3

2-4

- ・ 令和 4 年度 小櫃公民館事業概要
- ・ 令和 4 年度 上総公民館事業概要
- ・ 令和 4 年度 上総地域交流センター事業概要
- ・ 令和 4 年度 修繕・備品購入計画

小櫃公民館

1 基本方針

- (1) 地域住民が心身ともに健康であり続けるために、公民館事業を意欲的に展開し、学習・文化・社会体育活動の発展を図る。
- (2) 地域住民の学習、交流、活動の拠点をめざし、地域に根ざした公民館活動を展開することで、地域住民の誰もが元気に活躍し続けられる社会、安心して暮らすことのできる社会づくりを目指す。
- (3) 地域住民がより身近な場所で学習したり、「新しい生活様式」を踏まえた新たな人とのつながり方やかかわりあえる機会を創出するため、対面とオンラインの手法を効果的に組合せ、地域の活性化を推進していく。

2 令和3年度の成果と課題

【成果】ICT を利活用した事業展開の推進

令和2年度はICT関連事業を手探りで進めてきたが、令和3年度は計画に位置付け、感染対策の一環としてのオンライン実施や遠方の講師と現地を結ぶための活用、学習者の裾野を拡げるためのYouTube配信、ICTそのものを課題として設定した事業の実施など、多面的な展開を図った。

【課題】感染症拡大防止措置に伴う地域団体の活動の低迷化、衰退化への対応

令和2年度と同様に、コロナ禍の長期にわたる休館や利用制限により、公民館サークルの休止や解散せざるを得なくなった団体もでてきている。今後は、公民館利用団体や地域団体への支援を図りつつ、ICTを活用して地域資源の収集・整理・発信を行う活動等を進めることで、地域の文化活動の維持、団体の活性化に寄与する公民館事業を展開していく必要がある。

3 令和4年度運営および事業の重点目標

- (1) 公民館活動に関わる人の裾野を広げ、施設を利用しやすい環境整備を推進する。
- (2) 青少年の健やかな成長を願い、その活動を支える地域の輪(和)づくりを支援する。
- (3) 対面とオンラインの手法を効果的に組合せ、住民の学習と交流の機会の拡充に努める。
- (4) 団体・サークル活動の育成・援助に努め、地域のネットワークづくりを推進する。
- (5) 情報の収集・整理・発信を通じて地域活性化を目指す。

4 令和4年度事業計画

(1) 公民館運営審議会

No.	事業名	目的及び主たる内容	時期回数	対象・人数	場 所	備考
1	小櫃・上総地区公民館運営審議会	小櫃・上総地区の課題に向き合っ て住民の意見を十分に取り入れ、 民主的で活力ある公民館の運営を 図る。	5～3月 年4回	委員8人	小櫃・上総 公民館他	R3・4年 度事務 局： 上総公 民館

(2) 青少年教育事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	時期回数	対象・人数	場 所	備考
1	子ども会等関係者会議	地域で青少年の指導に関わっている活動団体と、公民館や学校等の教育関係機関が一同に会し、相互に情報交換して連携を深める機会として実施する。	5月31日	保育園、小・中学校、子ども会、青少年相談員ほか	小櫃公民館	
2	子どもひろば	地域住民の様々な知恵や経験を活かした遊びや運動などの体験学習の提供を通じて、“子どもの居場所づくり”を進める。	夏休み・冬休みなどの長期休暇	小学1～6年生	小櫃公民館	
3	おびつつ子たんけん隊	自然の中での体験や生き物の観察などを通じて、自然環境に目を向ける機会を創出する。	9月～10月	小学1～6年生	小櫃公民館 他	
4	おびつつ子チャレンジ	様々な体験活動の実施を通じて、子どもの創造性を育む機会を創出する。	11月～12月	小学1～6年生	小櫃公民館 他	
5	青少年相談員連携事業	子どもと子育て世代がともに交流できる体験活動を実施し、青少年の健全育成を図る。	1月	主として小学生	小櫃小学校	青少年相談員と共催
6	子どもキャンプ代替事業	コロナ感染拡大防止のため宿泊を伴うキャンプは中止とし、日帰りでの代替事業を実施する。	7月23日	小学生		青少年相談員と共催
7	20歳を祝う集い	人生の節目を迎える20歳の青年が大人になった自覚を持てる機会として、また地域の人々との交流を深められる機会として位置づけ、青年教育の推進と地域の活性化を図る。	令和5年1月8日 実行委員会 9月～2月	新成人者 平成14年4月2日～ 平成15年4月1日 生まれの方	小櫃公民館	

(3) コミュニティ活性化事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	時期回数	対象・人数	場 所	備考
1	利用者研修会	公民館を民主的に運営し、団体活動の発展と利用者団体相互の学習・交流・連携を深める。	7月・1月 計2回	利用団体・サークル・公民館職員	小櫃公民館	
2	館報「おびつだより」の編集・発行	住民有志の編集委員会を設け、地域の学習・文化・暮らし等を取材・編集し、親しみやすい紙面づくりを目指す。	6月～3月 4回発行	印刷部数 1,700枚 地区毎戸配布		編集委員5名

資料 2-1

3	第 48 回小櫃地区文化祭	豊かな地域文化の創造と活力ある地域社会づくりを目指して、各種団体と個人の文化活動、公民館事業の成果等を発表・展示し交流を図る。	実行委員会 3 回 開催日 10月29日 10月30日	地域住民	小櫃公民館	
4	小櫃里山コンサート	地域住民が文化芸術活動を身近な場所で楽しみ、誰もが気軽に参加できるコンサートを実施する。	12月頃 1回	市民	小櫃公民館	
5	君津市公民館連絡会・8館連携事業	共に学ぶ市民の集い、公民館交流集会の実践を踏まえ、地域の諸課題解決に向けた「学びと活動の循環」につながる全市的事業を市内全公民館で検証し、実施を目指す。	担当者会議 4 回程度			担当館：周南公民館
6	おびつ地域ミニシアター	公民館から地域へ出向き、映画会を実施する。	随時	地域住民	小櫃地区内	
7	団体支援事業	地域団体の支援・育成に関わる。 ①公民館利用者連絡協議会 ②小櫃の元気なこどもを育てる会	年間を通して	サークル・団体	小櫃公民館 他	
8	学校支援・連携事業	学校教育と社会教育が分野の垣根を越えて連携することで、地域ぐるみの子育て環境醸成を目指す。 ・「総合的な学習の時間」支援 ・小学校 1000ヶ所ミニ集会他	総合学習支援：4～6月 ミニ集会支援：1月	生徒・児童、地域住民	小櫃小学校 他	
9	地域団体連携事業	地域団体への支援・連携を通じて、持続可能な団体作りと地域の活性化を目指す。 「長谷川ホタル谷フェスタ」 「おしゃべりウォーク」他	随時 6月 10月頃	団体・地域住民	小櫃地区	

(4) 課題解決学習推進事業

No.	事業名	目的及び主たる内容	時期回数	対象・人数	場 所	備考
1	小櫃まるごと博物館構想事業	小櫃地区の地域資源を題材に住民主体で学習成果と ICT を活用したエコミュージアムを展開する。	通年	地域住民	小櫃地区	小櫃学と連動実施
2	地域学習講座「小櫃学」	「小櫃」にこだわり、地域の資源や文化を再発見できるよう機会を設ける。	7～8月 1回	市民	小櫃地区	
3	趣味教養講座	公民館活動入門編として親しみやすいテーマを取り上げ実施する。	7月～10月 4回程度	地域住民	小櫃公民館 他	
4	おびつスマイルサロン いーね	福祉に関わる様々な地域団体と手を結びながら、支え合い活動の体制づくりを進めるために「サロン活動」を展開する。	6月～3月 第3金曜	地域住民	小櫃公民館 講堂	

資料 2-1

5	小櫃地区 防災講座	地域の防災意識の向上、共助の関係づくりの一助を担うことを目的に、実施する。	6月19日 1回	地域住民	小櫃公民館	自治連協と共催
6	子育てチャンネル「のとぼっこ」	子育てをめぐる多様な課題に応えるため、子育て中の親へ学習の機会をオンライン上で提供する。	4回程度	子育て中の保護者	オンライン	上総公民館と合同
7	子育てサロン「おびつな」	地域の人間関係づくりのため親子の交流と学習の機会を提供する。	7月～1月 4回	乳幼児とその保護者	小櫃公民館	コアルームと連携
8	学びなおし事業「デジタル活用講座」(デジ活)	個人の要望と社会の要請に応えるために実学的な内容を取り上げ、新たに必要とされる知識や能力、技術等を学習する機会にする。	年3回	地域住民 20名程度	小櫃公民館	
9	防災人権講座	自主防災会が設立されていない地域(自治会単位)を主な対象に、人権意識を育み、地域の防災上の課題を把握すると共に、日頃の対策を考える機会とする。	山本地区 6月～7月頃で調整 1回	各地区住民	自治会館、青年館他	
10	地域医療講演会	地元診療所の医師による講演会を実施し、地域住民の健康上の課題等について考え合う機会とする。	9月頃	市民	小櫃公民館	
11	ほほえみ学級	高齢者が生きがいをもち、学び、交流する場とする。	6月～3月 10回程度	60歳以上の地域住民	小櫃公民館 他	
12	高齢者学級 小櫃保育園 交流事業	園児の「竹馬」練習の補助を通じて高齢者学級生と保育園の園児との交流を図る。	6月～2月	60歳以上の地域住民	小櫃保育園	

(5) 施設提供・団体活動の援助

No.	事業名	目的及び主たる内容	時期回数	対象・人数	場 所	備考
1	施設の提供	住民の学習と集団活動の拠点としての役割を果たし、個人利用にも対応する。	通年	市民	小櫃公民館	
2	図書館サービス	地域の読書推進を図る。蔵書の充実を図る。				
3	備品・設備の充実	施設環境の充実に努め、必要な備品を購入し、機能性の向上に努める。				
4	社会体育活動の援助	暮らしにスポーツを取り入れ、心身ともに健康づくりを推進する。	通年	各スポーツ 団体・住民	小櫃公民館 スポーツ広場	

(6) 開館50周年記念に向けた取り組み

No.	事業名	目的及び主たる内容	時期回数	対象・人数	場 所	備考
1	開館50周年記念事業準備会	開館50周年の節目にこれまでの地域と公民館の歩みを振り返り、今後の展望を描く	準備会 11月～	地域住民		

上総公民館

1 基本方針

- (1) 地域住民の身近な学習・交流の拠点施設として、様々な年代が利用しやすい公民館を目指す。
- (2) 地域の実態や課題に根ざした公民館事業を推進し、学習意欲と自治能力の向上を図り、地域活性化と文化活動の発展を目指す。
- (3) 他機関・団体と積極的に連携・交流を図り、地域の豊かな人間関係作りと共同の輪作りを進める。

2 令和3年度の成果と課題

令和元年度から延期している第50回上総地区文化祭は、企画委員会で検討した結果、延期とし、代替事業「みんなの活動 発表・展示会」を実施した。令和2年度は展示のみだったが、令和3年度は舞台発表を一部実施するなど、コロナ禍の影響により制約を受けつつも、文化振興と交流促進に取り組むことができた。

また、令和2年度から実施している「令和にいきる！スマホ塾」、「館長さんとこぐまちゃん〜ゆるっと上総日記〜」(YouTube 動画配信)を引き続き実施するとともに、県内初となる明治安田生命との共催事業として、松丘分館事業「いきいきシニアライフ講座」を実施し、地域の活性化に取り組んだ。

一方で、高齢化に伴う防災や獣害の対応、学校統合後の子どもたちの居場所づくりなど新たな課題が生じている。既存事業の中で取り組むことが難しいものもあり、事業の見直しや広報等の工夫が必要である。

3 令和4年度運営および事業の重点目標

(1) 地域住民を大切にする公民館運営の推進と施設整備

- ① 公民館運営審議会、利用者連絡協議会、分館事業推進委員会等との積極的な意見交換を行い、地域の実情や課題について探り公民館運営や事業に反映させていく。
- ② 幅広い年代が参加しやすい公民館事業に取り組み、身近な地域活動・交流の拠点として、広域な地域性を踏まえ様々な年代や層が活動し易い施設整備を進める。
- ③ 住民、団体、機関等との話し合いの場を積極的に設け、地域全体で公民館を使いこなしていく力量を高めることができるよう助言や支援を行い、お互いの信頼関係を強める。

(2) 地域課題に積極的に取り組む事業作りと誰もが参加しやすい学習の機会作り

- ① 地域課題や文化について学ぶ機会を積極的に取り入れ、話し合いや調べ学習といった手法を活用し、地域を支える人材育成を進める。
- ② 少子化地域ならではの子育て支援・青少年教育の充実を図り、地域の交流と担い手作りを進める。
- ③ 住民の学習活動を積極的に支援するため、図書分室の充実と利用促進、地域資料及び情報の収集・活用を図る。
- ④ ICTを利活用した新しい事業のあり方を検討し、実施する。

(3) 広報・周知活動の工夫と充実

- ① 「公民館だより」「分館だより」の紙面の充実を図り、地域と公民館をより密接に結びつけるために、地域の動きや情報を追った記事を大切にし、地域に密着した

紙面作りと体制作りを図る。

- ②ホームページの定期的な更新に努めるとともに館内掲示板などを積極的に活用し、新たな利用層に向けた公民館事業の情報発信に務める。

(4) 人権学習の充実と地域を支える人材育成とつながり作り

- ①豊かな人権意識の醸成を目指し、関連機関との連携を図りながら、上総地域に即した人権教育事業を推進する。
- ②これからの上総地域を支える人材育成及び人材発掘に努め、地域に豊かな人間関係の土台作りを行う。

4 令和4年度事業計画

(1) 公民館運営審議会

No.	事業名	目的及び主な内容	期日・回数	対象・人数	場所	備考
1	小櫃・上総地区公民館運営審議会	公民館事業の企画実施、施設整備、両地区の連携等について調査・研究・審議する。※事務局：上総公民館	年4回 (5, 9, 12, 3月)	委員 8名	小櫃公民館 上総公民館 他	平成11年度から小櫃と合同ブロック制

(2) コミュニティ活性化事業

No.	事業名	目的及び主な内容	期日・回数	対象・人数	場所	備考
1	第50回上総地区文化祭	豊かな地域文化の創造と市民の交流を目指し、様々な文化活動や地域活動について発表する機会とする。	10月8・9日	公民館利用 サークル・ 団体 地域住民	上総公民館	
2	大人の趣味教養講座	地域活動の入門の場として実施し、文化活動の場作りと交流の場を目指す。	年3~5回程度	成人	上総公民館 他	
3	上総公民館だよりの発行	公民館主催事業・活動、利用サークル・団体等の活動紹介及び生涯学習情報や地域	年4回発行 (6, 9, 12, 3月)	全世帯 各機関等	地区内	
4	久留里だよりの発行	の話題等を掲載し、公民館と住民とのパイプ役を果たす。	年1回発行	久留里地区世帯配布	地区内	
5	上総の“山”と“歩く”を楽しむ教室	自分たちの住んでいる地域を自らの足で歩いて確認し、地域の良さや魅力について考える機会とする。	年1回	地区内外の成人、青少年等	上総地区内	
6	利用者懇談会	公民館利用者が公民館の役割を認識し、利用しやすい公民館づくりとサークル・団体活動の活性化・発展を学ぶ機会とする。	利用者懇談会(説明会) 6月、1月	利用サークル・関係団体等	上総公民館	

資料 2-2

7	君津市公民館連絡会・8館連携事業	市民の集い、公民館交流集会の実践を踏まえ、地域の諸課題解決に向けた「学びと活動の循環」につながる全市的事業を、市内全公民館で検証し、実施を目指す。 ◇担当者会議 年4回程度	通年			事務局：周南公民館
---	------------------	---	----	--	--	-----------

(3) 青少年教育事業

No.	事業名	目的及び主な内容	期日・回数	対象・人数	場所	備考
1	公民館DEチャレンジ	自然に親しむ活動や創作活動を通じ、子ども達の交流と体験活動を行う。	長期休業等 年4回程度	地区内の小学生	上総公民館 他	
2	子どもキャンプ	自然のなかで共同生活を送り、自然の素晴らしさ、仲間の大切さ、協力して働くことの重要性を学ぶ。	事前研修 7月30日 キャンプ 8月6・7日	管内の小学 4～6年生	松丘コミュニ ティセンター 稲ヶ崎キ ャンプ場	上総地区 青少年相 談員連絡 協議会と 共催
3	ふるさとかるた大会(予選)	市内の歴史や文化について理解を深める場とする。	未定	地区内の 小学生	上総公民館	上総地区 青少年相 談員連絡 協議会を 支援
4	移動研修	青少年健全育成と体験活動の充実、異年齢交流を図る。	9月18日	地区内の 小学生	未定	
5	書道大会	日本の伝統文化に親しみ、子どもたちの健やかな心身の成長を目指す。	12月下旬	地区内の 小学生	上総公民館	
6	20歳のつどい(仮称)	20歳の門出を祝い励ますため、3地区(久留里・松丘・亀山)で集いを実施する。	・準備会 未定 ・集い 1月8日	新成人	上総公民館、 松丘・亀山 コミュニティ センター	各地区で 実行委員 会を組織
7	自習室開放	地域の青少年の学習の場として会議室等を開放する。	長期休業 中を予定	小学校高学 年以上	上総公民館	

(4) 課題解決学習推進事業

No.	事業名	目的及び主な内容	期日・回数	対象・人数	場所	備考
1	さわやか学級(高齢者学級)	地域や家庭で健康で生きがいのある生活を送るために、共に学びふれあう場とする。	6月～3月 年10回程度	60歳以上 の方	上総公民 館 他	
2	子育てチャンネル「のとばっこ」	子育てをめぐる多様な課題に対応するため、子育て中の親へ学習の機会をオンライン上で提供する。	4回程度	子育て中の 保護者	オンライン	小櫃公民館 と合同

資料 2-2

3	わいわい広場 (家庭教育 関連事業)	地域内の乳幼児を持つ保護 者とその子どもの交流を図 り、子育てに関する知識や 知恵を学ぶ機会とする。	年2~3回	乳幼児の親 子 15組程度	松丘・亀 山コミュ ニティセ ンター	
4	上総人権教 育推進事業	下町集会所の活用や地域内 の学校との連携等を通して、 人権学習の充実と推進を図 る。 ・久留里子どもふれあい教 室の実施 ・地域住民交流教室の実施 ・人権週間関連事業等への 協力	通年 7月以降 年3回程 度 12月	地区内児童 主に上総地 区住民 市民	上総公民 館 他	生涯学習 文化課及 び上総小 学校と連 携
5	サークルリ ーダー ICT 講習会	サークルの役員を対象に、 SNSの活用方法を学習する 機会を提供し、サークル活 動の活性化を支援する。	7月頃	サークル役 員	上総公民 館	

(5) 分館事業

No.	事業名	目的及び主な内容	期日・回数	対象・人数	場所	備考
1	松丘分館事 業	身近な場で生活に役立つ学 習や事業等を通して、豊か な地域づくりを目指す。 ・第16回松丘ふれあい祭り ・分館だよりの発行 ・分館事業推進委員会 ・趣味教養講座の実施 ・松丘探検隊 ・お飾りづくり講習会	通年 11月5日 7・10・2月 年3~4回 1回 通年 12月	市民	松丘分館 他	分館だよ り編集委 員会を事 業推進委 員会内で 実施
2	亀山分館事 業	身近な場で生活に役立つ学 習や事業等を通して、豊か な地域づくりを目指す。 ・亀山ふるさとまつり ・広報かめやまの発行 ・分館事業推進委員会 他 ・認知症予防教室 ・老後の睡眠～睡眠負債と 夜間頻尿について学ぼう～	通年 10月29日 7・10・2月 3回 検討中 検討中	市民	亀山分館 他	広報かめ やま編集 委員会を 実施 課題解決 支援の取 組

資料 2-2

(6) 施設提供・管理、図書、サークル育成・援助・学習相談等

No.	事業名	目的及び主な内容	期日・回数	対象・人数	場所	備考
1	展示活動	地域情報・学習情報の提供を行い、来館者が気軽に関わることができる「参加型掲示物」に取り組む。 ・七夕かざり ・千葉県伝統的工芸品展示	通年 未定 未定	市民・来館者	1階ふれあいホール 他	
2	施設利用の促進	様々な学習活動や市民活動がしやすい環境づくりと、各団体のセルフサービスによる施設利用を推進する。また、関連施設の貸出事務も行う。	通年	市民・在勤者	上総公民館 関連施設： 久留里スポーツ広場・下町集会所	生涯学習文化課・スポーツ推進課と連携
3	施設の維持管理	施設の維持管理・修繕等を行い、利便性や機能性を高める。	通年	施設	上総公民館	生涯学習文化課と連携
4	図書館サービス	住民や関係機関のリクエスト・相談に応え、読書活動の支援に努める。また図書コーナーの利用促進に関する事業を実施する。	通年	市民・在勤者	中央図書館上総分室	中央図書館と連携
5	児童室（保育室）の活用	部屋を活用した子・孫育て世代の交流と学習機会の充実を図る。 ・保育協力者会議の実施	通年 検討中	市民 保育協力者	上総公民館	保育協力者と連携
6	スポーツの普及	日常的にスポーツの普及をはかるため、卓球等の利用受付を行う。	通年	市民・在勤者	上総公民館	現在、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策により一時中止
7	関係団体との連携 団体活動の援助 情報提供等	各種団体・機関と連携し、地域の教育機能を高める取り組みや必要に応じた支援を行う。また地域住民への情報提供や学習・集団活動の相談に積極的に対応する。 ・サークル体験会 ・日帰りハイキング ・利用連総会	通年 検討中 未定 5月17日	市民 諸団体 機関等 市民 市民 サークル・ 団体	上総公民館 他 上総公民館 未定 上総公民館	

上総地域交流センター

1 基本方針

- (1) 生涯学習・市民の相互交流活動に関連する業務を積極的に進める。
- (2) 小櫃・上総地域を視野に入れ、これまで公民館で培ってきた地域との絆を大切にしながら、幅広い市民の交流の場づくりを進める。

2 令和3年度の成果と課題

上総地域交流センターが開館して10年あまりが経過した。近年は台風の大型化に伴い、地域の防災拠点として住民の安心安全を確保する大きな役割を果たしている。

「まちなみ塾」との連携事業については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響もあり、事業の中止若しくは代替事業として実施をした。

県立君津青葉高等学校の協力を得て取り組んでいる「花いっぱい運動」は、上総地域交流センター花壇及び施設内の草花の植栽等に、地元の団体やボランティアなどの参加を得て実施することができた。

新型コロナウイルス感染症の影響により、今後の見通しが不透明な状況ではあるが、コロナ禍を踏まえた事業の実施方法等について、引き続き検討が必要である。

3 令和4年度運営および事業の重点目標

- (1) 副次核構想の中心となる久留里地区の活性化を推進する。
地域団体や機関、市長部局等と情報交換を図り、地域の活性化につながる場作りを進める。
- (2) 小櫃・上総地区の生涯学習活動・文化活動の活性化につながる事業に取り組む。
まちなみ塾と連携し、様々な世代が参加できる事業を実施する。

4 令和4年度事業計画

No.	事業名	目的及び主な内容	期日・回数	対象・人数	場所	備考
1	「まちなみ塾」との連携事業	久留里地区の活性化のあり方や計画をつくり具体化をはかる。 ◇落語フェスティバル まちなみコンサート 鄙の雛展 他	通年 10月 12月 2月～3月	市民	上総地域交流センター他	地域の諸団体との連携
2	花いっぱい運動	君津青葉高等学校等と連携し、上総地域交流センターの花壇及び施設周辺の美観整備を行う。	7月、12月 年2回植栽	高校生・上総ロータリークラブ・ガーデニングボランティア等	上総地域交流センター他	地域の諸団体との連携

令和4年度 修繕・備品購入計画

【小櫃公民館】

<修 繕>

なし

<備品購入>

なし

【上総公民館】

<修 繕>

なし

<備品購入>

1 防犯カメラ（既存4台と録画装置の入れ替え）

2 ワイヤレスマイク

※その他は予算の範囲内で調整中

資料 3-1

3-2

3-3

3-4

3-5

ICT を利活用した公民館事業の新しいあり方について

- ・ ICT に関する説明資料
- ・ 上総公民館モデル事業について
- ・ 小櫃公民館モデル事業について
- ・ 評価票の記入要領
- ・ 評価票

ICTに関する説明資料

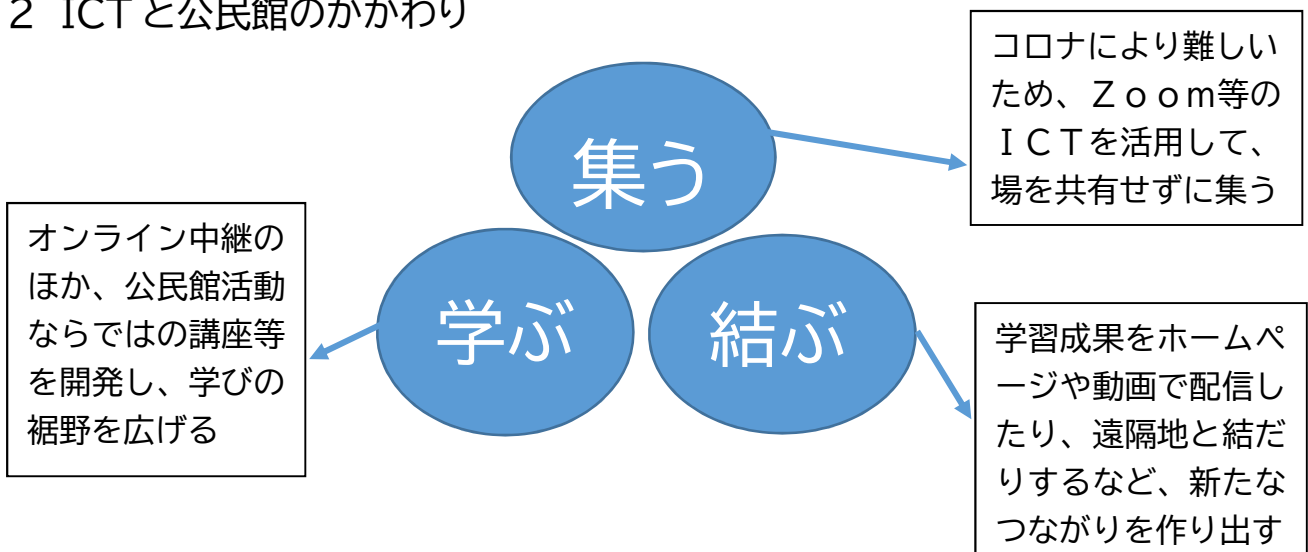
1 ICTとは

IT: Information Technology(情報技術)→情報を処理する技術そのもの

ICT: Information Communication Technology(情報通信技術)

→ITを利用して、通信や知識の共有などを行う。

2 ICTと公民館のかかわり



- ・ICTを活用すると、「集う」ことはできなくても、「学ぶ」「結ぶ」ことはできる。
- ・コロナ禍で「集う」ことが難しい今だからこそ、ICTを活用して「学ぶ」「結ぶ」ことを続けることが大切である。
- コロナ禍が終息しても、ICTと活用しながら、公民館の「集う」「学ぶ」「結ぶ」機能を高めることを視野に入れて、事業展開を図る。

3 公民館運営審議会におけるICTに関する審議の予定

令和3年度

既存事業におけるICTの導入および活用



経過報告・意見聴取

令和4年度

ICTを活用したモデル事業の設定



事業実施

経過報告・意見聴取

今後の公民館事業におけるICT活用に関するまとめ



モデル事業「サークルリーダーICT講習会」について

上総公民館

1 事業概要

(1) 目的

高齢化や役員の担い手不足、コロナ禍での活動自粛等を理由に、上総公民館の定期利用サークル（分館含む）は減少傾向にある。公民館サークルの役員を対象に、サークル活動に役立つ SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）の活用方法を学習する機会を提供し、役員の負担軽減や、コロナ禍での対面を避けた活動の実施につなげることで、サークル活動の継続と活性化を支援する。

(2) 協力団体 ※交渉中

きみばそくらぶ（生涯学習交流センターIT講習会協力団体）

(3) 講師選定の理由

会員の多くが高齢者であり、IT講習会では高齢者を対象に、つまづきやすい点や分かりにくい点等を同じ高齢者の立場で親身になって指導してきた実績がある。

小櫃公民館にて、令和3年度に高齢者を対象とした「スマホの検索力UP講座」の講師を務めた実績もあり、本講座の趣旨に合致していると考えられる。

2 実施計画

(1) 予算分類 課題解決学習推進事業

(2) 期 日 令和4年7月中旬（予定）

(3) 会 場 上総公民館（Wi-Fiがあるため会議室1を予定）

(4) 内 容 SNS（LINEを予定）に関する以下の内容

①アプリのダウンロードと新規登録

②プロフィール等の初期設定

③グループの作成

④ノートの活用

⑤ファイルの送信・共有

⑥イベント機能を活用したスケジュール調整や出欠確認

(5) その他 複数回の実施や習熟度別の開催等を検討する。

令和4年度「小櫃まるごと博物館」構想事業

1. 趣旨

本事業は、小櫃・上総地区公民館運営審議会意見書『子ども、若者、高齢者など、誰もが地域で暮らし続けられるふるさとづくりに寄与する公民館事業』の実現に向けて(平成31年3月)^{※1}を踏まえ、小櫃地区に点在する史跡や伝説(伝承)、自然、生活文化等の地域資源をもとに、丸ごと博物館にするいわゆる「エコミュージアム」^{※2}実現のためのものである。

これまで小櫃地区で取り組まれている地域学習講座「小櫃学」、住民主体の長谷川ホテル谷フェスタ、おしゃべりウォークなどを基盤にしながら、ICT を活用することでオンラインとオフラインを有機的に結び付け、君津市総合計画に掲げる各種施策への実現を図る(市民とともにつくるまちづくり、地域コミュニティの活性化、新たな地域拠点づくり、観光資源の磨き上げ)。

これにより、小櫃地区住民(元住民も含む)にとって郷土への誇りと愛着をもてる取り組みとする。

※1 意見書において、「3 これからの公民館が持つべき視点と取り組むべき運営・事業について」(1)公民館運営について②地域資源の情報収集や発信・交流基地としての公民館機能の充実化、および(2)公民館事業について①「地域」を掘り下げる事業への積極的な取り組みの推進が挙げられている。

※2 エコミュージアム(ecomuseum)とは「ある一定の地域において、地域住民が主体となって、有形無形のあらゆる地域資源に対して博物館活動、すなわち調査・研究、保存・保全、展示・教育を行うシステム」のことで、地域住民の生涯学習活動を基本としたまちづくりの手法である。博物館活動を行っていく中で、地域住民は地域のことを総合的・多面的に捉え、地域の現状を知り、将来像を描き、生きた博物館として地域を運営していくことが期待されている。むしろ、地域の価値をつくり育てていく住民に、その意識と活力が無ければ、地域の発展は期待できないとも言える

(引用:大原一興「文化遺産を生かしたエコミュージアムのまちづくり」『館山まるごと博物館 ヘリテージまちづくりのあゆみ』NPO 法人安房文化遺産フォーラム, 2014年)

2. 事業内容 ※下記のほか必要に応じて事業を広げていく

(1)学習・調査・記録をすすめる「構想推進員」を養成する ※「学びなおし事業」として位置づける

- ・ 地域資源に関する関係者に声掛けをしていくとともに、一般公募を行い広く関心のある人材を募集する。(募集を通じて小櫃まるごと博物館のPR活動も兼ねる)
- ・ 久留里城址資料館や生涯学習文化課文化振興係と連携し、座学及び見学型の「小櫃学」の実施を通して、地域資源に関する学習を行う。※「小櫃学」は一般参加も可能とする。
- ・ 推進員会議を定期的開催し、地域資源に関する情報収集やエコミュージアムに関する理解を深めていくと共に、動画の編集方法やウィキペディアへの入力方法に関する技術的なスキルの向上も図っていきながら学習成果の活用のための発信力も高めていく。

(2)映像に記録する

- ・ 小櫃学での学習成果をはじめ各種地域資源に関して映像化しアーカイブ資料としての保存・蓄積を図る（君津市公式 YouTube チャンネルを活用）。
- ・ 令和元年度房総半島台風やコロナウイルス禍による影響を受けたモノ・コトを優先的に取り上げていく。
- ・ 長谷川ホタル谷フェスタ等、住民が主体的に取り組む実践活動を映像化する。

(3)映像の活用

- ・ 史跡付近の案内看板に映像（または関連ホームページ）にアクセスできる QR コード表示を設置することで、オンラインとオフラインをつなぐ仕掛けを行う。これにより、訪れた来訪者（観光、ハイキング目的）が簡単に映像にアクセスできるようにする。「おしゃべりウォーク」のコース設定においても関連付けを行うことで、地域を歩きながらより深く地域を知ってもらう機会とする。
- ・ 学校支援（ホタルプロジェクト）において映像を活用することで、地域の生きた教材として子どもたちの学習関心を高められるようにする。

3. 事業に関係する小櫃地域の地域資源（モノ、ヒト、コト）の一例

分類	地域資源・題材
地名由来	鶴岡卓樹著『小櫃の地、字 いにしえをもとめて』参照
彫刻	萬福寺の欄間彫刻＊三代目伊八郎の作
古墳群	小櫃の三大前方後円墳（箕輪浅間神社古墳、白山神社古墳群、飯籠塚古墳）、戸崎古墳群
巨樹・保護樹	船塚山のサクラ（＊令和元年台風 15 号で倒木）、賀恵洲のスダジイ（八坂神社）、富崎神社のイヌシデ、円明院のカヤ、
行事・民俗文化	大嶽神社お焚き上げ会、実蔵院の節分祭、山本観桜会、飯縄神社祭礼、おしゃべりウォーク虫送り（西原地区、長谷川・小櫃台地区）、上新田地区神楽奉納（上新田氏子青年会） 俵田地区夏祭り、賀恵洲地区夕涼会月、三田地区納涼祭、戸崎地区夕涼み会、箕輪地区夕涼み会、寺沢地区納涼祭、末吉四万八千日観音祭（圓能寺）、お月見どろぼう、白山神社の秋の大祭、鹿島様、小櫃地区市民体育祭、小櫃地区ふるさと祭り
石碑	三田の道標、江戸道道標、萩ノ台の馬頭観音、三ツ岩の馬頭観音、七人士の墓
古城	湯名城（真里谷武田氏の山城・山本）、戸崎城（北条・里見の戦い）
工芸	雨城ようじ
自然	長谷川ホタル谷フェスタ、小櫃の森、小櫃小学校学習田（合鴨農法）
産業	米、鶏卵、イチゴ、酒（宮崎酒造）、自然薯（小櫃自然薯組合）
ヒト・団体	小櫃の元気な子どもを育てる会、日伯交流、ミライキカク、大村安之助と上総掘り、ウィッシュボンプロジェクト（星空劇場）
歴史伝説	小櫃の水害（四五災）、大友皇子伝説（弘文天皇陵治定運動：森勝蔵）、小櫃氏

※著作権・所有権・肖像権等により扱いが困難なものもあるため実現可能なところから扱っていく。

4. 事業予算 小櫃公民館 課題解決学習推進事業

（地域学講座 10 千円、地域課題解決支援30千円、大人の学び直し事業 10 千円）

令和4年度 小櫃・上総地区公民館運営審議会 モデル事業評価票 記入要領

1. 評価票の記入について

- ・「計画・準備」「当日」「事後」の3点について、4段階の評価と、評価の理由・意見・感想等をご記入ください。
- ・4段階評価だけではなく、評価の理由・意見・感想等も必ずご記入ください。
- ・「事後」については、参加者アンケートの結果と職員による内部評価を追って送付しますので、そちらを参考にしてご記入ください。
- ・「コメント」については、評価項目以外に意見や感想がございましたらご記入ください。特にない場合は空欄で結構です。

2. 評価の方法について

- ・審議委員による外部評価、公民館による自己評価を実施し、モデル事業を通して公民館事業を点検します。
- ・とりまとめた結果は、第2回小櫃・上総地区公民館運営審議会で報告いたします。審議会の場で改めてご意見をいただき、総合評価をいただきます。
- ・評価を通じて出た改善点等を次年度事業計画に反映します。

3. 評価票の提出について

- ・評価票は、同封した用紙に直接記入いただくほか、データに入力して提出していただくことも可能です。データでの提出をご希望される場合は、上総公民館までご連絡ください。

4. 記載にあたっての不明点等について

- ・評価に際して、疑問点、不明点等ございましたら、上総公民館までご連絡ください。

小櫃・上総地区公民館運営審議会事業評価票(令和4年度)

評価票記入要領をご確認の上、各項目について記入をお願いいたします。

達成度(4段階評価) 当てはまるものに○印を記入
 4…大変よくできている(おおいにあてはまる)
 3…まあまあよくできている(まあまああてはまる)
 2…あまりできていない(あまりあてはまらない)
 1…全くできていない(全くあてはまらない)

テーマ	ICTを利活用した新しい公民館事業のあり方について
モデル事業名	
記入者氏名	

実施段階	NO	評価項目	外部評価 (審議委員による評価)				評価の理由・意見・感想等
			4	3	2	1	
1 計画・準備	(1)	事業の目的や課題設定は適切か	4	3	2	1	
	(2)	周知方法は適切か	4	3	2	1	
2 当日	(1)	プログラムは、目的達成に資する内容になっているか	4	3	2	1	
	(2)	関係者の広がり、連携は図られているか	4	3	2	1	
3 事後	(1)	事業目的は達成されているか	4	3	2	1	
	(2)	市民や参加者のニーズに合っていたか	4	3	2	1	
コメント							